

## 広井多鶴子現代社会学科教授 教員著作展示

2012年1月5日～2月25日

1. 現代の親子問題：なぜ親と子が「問題」なのか / 広井多鶴子, 小玉亮子著

東京：日本図書センター, 2010.6

xi, 363p ; 21cm

大学 指定図書コーナ, 367.3/H71, 1A0437240

2. クォーターリー生活福祉研究 Vol. 15No. 1 (通巻 57 号)

東京：明治安田生命生活福祉研究所 2006. 4

この雑誌に〔特別寄稿〕「核家族化は「家庭の教育機能」を低下させたか」を掲載

3. 「理想の家族」はどこにあるのか? / 広田照幸編

(シリーズ:教職研修総合特集 ; . 「きょういく」のエポケー ; 第1巻)

東京：教育開発研究所, 2002. 5

262p ; 21cm

大学 和書 1F(0-7), 370.4/Ky4/1, 1A0384084

第Ⅱ章「<理想の家族>像はどこから来たか?」所収の「<家族>のはじまり」、第Ⅲ章「<家族>の現在を見る」所収の「少子化は女性の問題か」、「離婚後、母親に引き取られるようになった子供たち」の各項目を担当

4. 変容する家族と子ども：家族は子どもにとっての資源か / 渡辺秀樹編

(シリーズ子どもと教育の社会学 ; 3)

東京：教育出版, 1999. 8

ix, 193p ; 21cm

短大 一般図書, 371.3/Sh88/3, 5A0154621

第3章「父と母の制度史—親の<自然>な権利が確立するまで—」を担当

5. 制度としての教育：子ども・父母・教師のために / 藤枝静正, 林量俣編著

松戸：梓出版, 1991. 4

viii, 217p ; 21cm

大学 和書 1F(0-7), 373.1/F56, 1A0447123

第Ⅱ部「教育制度の構造」第6章「義務教育制度の現在」を担当